

狙うぞ 特ダネ!? たなかひさし



**事実の確認は徹底的に**

記者は、ホームページやブログを見て調べたり、取材のきっかけをつかんんだりすることがありますが、記事を書くとき、扱いには慎重を期しています。書いてあることが事実でなかったら誤報になるからです。

事実の確認を徹底し、引用元も示します。官庁の公式ホームページに書いてある情報も古くなっているか確かめており、念には念を入れていきます。

日本新聞協会NIEコーディネーター

関口修司さん(61)



せきぐち・しゅうじ 東京都出身。都内の小学校3校で校長として勤務。学校組織でのNIE研究を推進。2016年4月から現職。

先生!! 教えて 先生!!

子どもにどんな力をつけたいのか  
目的を持って読んで

新学期がスタートし、「授業で、新聞を使ってみようか」と考えた先生、いませんか。でも、新聞ってどう活用したらいいのでしょうか。NIEを始めて間もない若手が、ベテランの先生に聞きました。初回、回答するのは日本新聞協会NIEコーディネーターで、前東京都北区滝野川小校長の関口修司さん(61)。新聞の活用法、教えてください! (長田真由美)

授業で使う  
記事に悩みます



名古屋市小幡北小教諭 池田悠さん(32)

NIEに取り組んで2年。新聞の文章構成を参考にしながら、国語の作文指導に活用しています。どの記事が大事か、子どもにどんな力をつけたいか、目的を持って読んでみると、どう活用できるか見えてきます。それから、職員室に仲間が増えるといいですね。「どんな記事がある?」「この記事は面白い?」といった話ができる雰囲気があれば、話題が広がりますよ。

生が新聞を目にしていることが大事です。子どもにどんな力をつけたいか、目的を持って読んでみると、どう活用できるか見えてきます。それから、職員室に仲間が増えるといいですね。「どんな記事がある?」「この記事は面白い?」

「?」といった話ができる雰囲気があれば、話題が広がりますよ。

私自身は、仲間とスクラップを共有して、いろいろな記事を集めました。例えば、環境や工業、農業、道徳、いじめなどの記事があれば、それぞれ封筒に分けて入れておく。授業でも使えるし、朝の指導で話題にしてもいい。一人で記事を探すには限界がありますが、仲間がいるといろんなスクラップが活用できます。

学校ぐるみで  
毎週切り抜き

NIEは一人で取り組んでいる先生も多いですが、その先生が学校を変えると、実践が終わってしまうことがありません。子どもたちに書く力や読む力は残るけれど、新聞を読む習慣はなくなってしまう。数カ月で元に戻ってしまうんです。そこで、学校全体で取り組めないうえ、校長として赴任した三校で、学校ぐるみのNIEをしました。でも、初めから全員が積極的に取り組む、というわけにはいかなかった。ベテランの先生は、これまで培った専門性を生かした指導をしています。そこで、組織として取り組むので、協力してほ



「NIEタイム」で、記事を切り抜く児童。東京都北区の滝野川小で(関口さん提供)

赴任した学校では、週に一度、朝学習の時間に「NIEタイム」に取り組みました。十五分間、新聞を読んで好きな記事を切り抜き、コメントを書く。誰でもできます。知的好奇心をくすぐり、学ぶことの面白さを知り、深い理解に結び付く。新学習指導要領が目指す主体的、対話的な学習活動となります。

NIEタイムを続けた結果、全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の正答率が平均10%アップしました。応用力を問うB問題で特に伸びたんですよ。子どもたちが確実に力をつけることが分かります。ベテランの先生も「じゃあ自分もやってみるか」と興味を持ってくれました。

新聞を授業で使う良さは、リアリティーがあり、タイムリーなこと。教科書の資料はどんなに早くても、三、四年たってしまう。今起きていることを資料とすることで、子どもたちに今の社会を学んでほしいです。

新聞とわたし

テレビよりも一つのニュースについて細かく分かる新聞は、読んでいて楽しいです。毎日、時間のある時に読みます。自分が住む町のことや載っている地方版や、料理の作り方が書いてあるページが好きです。毎週土曜日の中日(子どもウィーク



鈴木七央さん

地方版の「児童の作文」に興味

リーも読んでいます。去年の夏の地方版に自分の作文が載ったから、他の小学生がどんな作文を書いているのかが気になるようになりました。将来の夢の作文は、どうしてその子がその夢を目指すようになったのか書いてあるから良いと思います。

将来の夢はたくさんあるけど、写真を撮ることと文章を書くのが好きなので、新聞記者になりたいです。(愛知県阿久比町 英比小三年)

